

# 10月くるみぐみだよ!

担当：村本 美穂

まだ少し暑い日もありますが、日ざしも柔らかくなり、外に出ると気持ちのいい風と空気が優しく全身を包んでくれる秋・・木の葉も徐々に茶色や赤、黄色に色づき、春とは違うさわやかさが少しずつ感じられるようになりました。過ごしやすい時期なので、室内の活動だけでなく、戸外へも出かけて色々な経験が出来るようにしていきたいと思ひます。

## 10月の行事

- 8日(火) 交通訓練
- 10日(木) お弁当の日/運動会リハーサル(田上小)
- 20日(日) 運動会(田上小)
- 21日(月) 代休
- 26日(土) 保育園説明会(ハーモニーホール)
- 29日(火) 火災訓練(消防署立合い)
- 30日(水) お楽しみ会

### ●今月の歌

とんぼのめがね こおろぎ 秋の空 どんぐり 運動会の歌

### ●今月のわらべうた

ちょちよちあわわ いっぽんばし こりゃどこの  
せんせがのんの メンメンスー こまんか

### ●今月の絵本

おいしいなうれしいな ばいばいまたね だあれかな?  
あそびましょ どおこだどこだ

### ◇運動 ～運動会に向けて～

くるみ組の子どもたちは、歩けるようになったり、ちょっと走れるようになったり、つかまり立ちやハイハイ、寝返りができるようになったりと大きく成長しています。



前に行きたいけれど行けない、あのオモチャを取りたいけど、取れないと泣いて訴えていた子どもたちが、大好きな大人を支えにしながら、この半年間で、自由に移動できる力を獲得してきました。今では、自分で動ける、移動できることが嬉しくて仕方がないように、全身で喜びを表しています。そんな子どもたちのために、斜面登りや滑り台、段差遊び、階段遊び、箱押し、散歩など、身体全体を大きく使う遊びを楽しんでいます。

また、くるみ組の子どもたちは月齢差もあり、成長が著しい時期で

もあります。だからこそ、子どもたちの表現や表情、成長の一つ一つを大切に受けとめ、関わっています。

運動会では子どもの発達から見ても、いつもと違う場所や雰囲気にはびっくりし、動かなかったり、笑顔が少なかったり、不安な表情を浮かべる姿があるかもしれません。子ども達の思いに、寄り添っていきたくと思っています。

運動会ごっこの様子は、週間カリキュラムや見どころ集などで、お知らせしていきたいと思ひます。泣いて何もできなかった、〇〇ができてよかったという捉え方ではなく、泣いて表現する子ども、のびのびと遊ぶ子どもの姿の中に、その子の思いを感じて頂けたらと思ひます。子ども達にとって無理のないように配慮しながら運動会を迎えられたらと思ひます。

### ～散歩～

月齢によって、手をつないで歩く子、一人歩きをする子、ハイハイの子と様々ですが、みんなで散歩に出かけました。自分で歩くのを楽しむ子、それをベビーカーの中から見ている子、景色を見ている子、ベビーカーの乗り心地を感じている子と、散歩の楽しみ方もそれぞれです。改善センターの広場に着くと地面におろし、探索活動を楽しみました。側溝を見つけると、「何かな?」と覗き込みます。拾った石ころを落とすと音がします。それが楽しくて、小石を見つけては落として遊んでいました。



朝夕時は肌寒くなってきましたが、日中は暖かな日差しとともに涼しい風も吹き、外に出かけることがとても心地よい季節です。大人も歩きながら五感を十分に働かせて、子どもに感じたことを伝えていきたいですね。子どもも見たり、触れたり、聞いたり、においをかいだりする体験をすることで、より楽しい散歩を親子で楽しめるのではないのでしょうか。ご家庭でも、お家の周りをちょっとお散歩してみたいかでしょうか。

### ◇集団

保育士との関係も安定してきて、子ども達は、自分で遊びを見つけ、一人遊びを始めます。最近は遊びの興味も広がってきて、友だちのことが気になってきました。“友だちと同じことをしたいな”“友だちが使っているあのおもちゃがほしいな”と思うようになってきて、取り合う姿も見られるようになりました。しばらく様子を見てお互いに必死です。そんなときは「これほしかったの?」「ちょうだいって言うてみる?」「〇〇君もあそびたいんだって」など、やり取りの中で必要な言葉やしぐさを伝えるようにしています。



子ども同士の関わりの中でのやりとりは、トラブルを通して、「ほしい」「いや」などの気持ちを互いに伝え合うことが大事だと思ひます。ただトラブルが起きないようにするのはなく、一つ一つの出来事や関わりを大切にしながら、温かく見守っていかれたらと思ひます。

### ◇絵本

十五夜を前に、絵本『おつきさまこんばんは』を読んできました。「こんばんは」に合わせて、お辞儀をしたり、「お…ば…わ!」と声を出してみたり、おつきさまが出てくると、指さしをして教えてくれたりします。最後のページでは、お月様があっかんべーをしているのですが、保育士が毎回「べえー」と、舌を出して真似っこしているのを見てひとり、そして真似っこするお友だちを見てまた一人と真似っこする子が増えてきました。「おはなしさん、はじめようかな～」という、棚の上の絵本を指さして「これよんで!」と、リクエストする子もいるくらいです。



### 手指探索

絵本『じゃあじゃあびりびり』を読んて、新聞紙遊びをしました。新聞紙を「びり、びり」と言いながら破ると、「んーんー(紙をちょうだい)」と、手を差しだします。「びりびりする?」と尋ねると、「うんうん」とうなずきます。紙を渡すと同じように破ろうとするのですが上手いきません。紙をぼいっと落とし、紙への興味が薄れたようだったので少しだけ切り目を入れて紙を渡し、手を添えて「びりびりー」と一緒に破ると、今度は破れました。保育士を見て思わず笑みがこぼれます。同じように切り目を入れて渡し、今度は一人で破ることができました。すると、ぱっと笑顔になりました。自分で破れたことがとても嬉しかったので、すると、「んーんー」と、紙を保育士に渡し始めました。また、切り目を入れると、すぐに手に取り破ります。同じように何度も繰り返して遊んでいました。



### ●描画

ななみさんも描画に挑戦しました。お友だちが描く様子を近くで見っていたので、ペンを渡すと嬉しそうにペンを見つめていました。ペンを何度か握りなおしながらも、腕を動かすと線が描かれ、そのたびにペン先を手で触って確かめていました。「しゅーって、うごかしてみようか」と手を添えて動かしてみると、描かれる線を見て今度は自分で動かしてみたい。「しゅーってしたら、



線ができたね～」と声を掛けると、保育士を見てにっこり。ちょっと描いては保育士を見てにっこりを繰り返しながら描画を楽しんでいました。

### ●言語・認識

名前を呼ばれるとわかるようになってきて、朝の集まりでも「○○さん」というと、手を挙げてみたり、保育士と視線を合わせたり、手を叩いたり、にっこり笑ったりかわいい仕草がいっぱい出てきます。

大人の言葉もずいぶんわかるようになってきて、「おかたづけだよ」「散歩に行くよ」と声を掛けただけで、おもちゃをかごに入れたり、帽子を取りに行ったり、靴を取りに行ったりしています。毎日の積み重ねの中で、次への見通しも少しずつ生まれてきているようです。



### ◇生活 ●食事

1歳以降になってくると、食事にムラが出始めることが多いようです。発達とともに嗜好も変わり「あそび」など様々な現象が出始める時期でもあります。無理に食べさせようとすると、怒って泣いたり、口を絶対に開けなかつたり…。そんなときは、量を始めから減らして盛り付けたり、「食べるときもあれば、食べない時もあるか」と、思って食べさせてみると自分に余裕が持てて、「今日はいつもより食べてくれた」と思えたりもします。何といっても食事中にテレビはついていませんか？おもちゃが目に着くところにありませんか？「食べる」より、「あそびたい」気持ちが大きくなると食事に集中できないかもしれません。食べる環境も考えて、食事中はテレビを消して、会話を楽しみながら食べたいです。

### ●身辺自立

りん君やかける君は、パンツやズボンに足を通して立たせ、「よいしょしようか」と声をかけると、自分で持ち上げようとします。なのさん、ななみさん、れなさんは、「足あげて」と声を掛けることで足を上げたり、あげようとしたりできるようになりました。こはるさんは遊んでいる途中でおむつが汚れると、泣いて教えてくれます。きれいになるとご機嫌になり、また遊びを再開しています。そう考えると、くるみ組の子ども達はまだまだ小さいのですが、受け身ではなく、生活の主人公としての力をつけているんだなと感じます。かといつて、



まだまだ自分で上手にできるわけではありません。「やったほうが早い」と、子どもの意欲を先取りせず、自分でしようとするを見守り、ちょっと手伝ってあげても最後は「自分でできたね」と声を掛けてあげたいです。

## 平成 25 年度 くるみ組 10月の目標

- ・体をしっかり使って遊ぶ
- ・行動意欲を広げていく
- ・戸外に出て自然に触れて遊ぶ

領域	1歳～	9ヶ月～	6か月～
<b>食事</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプーンを手に持たせ、道具の認識を促していく</li> <li>・自分で食べたい気持ちを大切に受けとめ、様子を見て介助し、充分たべられるようにしていく（子どもが意欲的に食べられるようスプーンは2本用意する）</li> <li>・コップを使って飲む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回食に移行。食品数、種類を増やしていく</li> <li>・持って食べられる環境にしていく</li> <li>・ミルクを飲むときに自分の手で持てるように手を添える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミルクをたっぷり飲む</li> <li>・一定量しっかり飲む</li> <li>・ミルクのあとのげっぷは必ず出させる</li> </ul>
<b>排泄</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の節目におまるに座る</li> <li>・おまるを見せて子どもと一緒に確認していく</li> <li>・日中はパンツで過ごす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠中はオムツにするが、様子を見ながらパンツにして、排泄の間隔を見ていく</li> <li>・オマルに座る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつ交換の際は、豊かな表情で接し、優しく声を掛けてスキンシップをする</li> </ul>
<b>睡眠</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回睡眠のリズムを整える</li> <li>・起きている時間しっかりと遊びぐっすり気持ちよく眠れるようにしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前、午後とも眠れるようにする</li> </ul>
<b>身辺自立</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉掛けをしながら、着脱を進める</li> <li>・声を掛けながら少しづつ手を添わせていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉掛けをしながら、着脱を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめにオムツを換え気持ちよさを知らせる</li> </ul>
<b>言語認識</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マンマンマン、ナンナンナン、ダダダダ」など切れ目のない喃語を発する</li> <li>・指さしを始め、自分の意志や要求を伝えようとする</li> <li>・簡単な言葉を理解し言葉と動作の結びつきが分かりだす</li> <li>・相手のしていることに興味を示し自分もしようとする</li> <li>・他の子どもが持っているものに手を出したり、相手に物を渡す</li> <li>・自分の名前を呼ばれるとわかる</li> <li>・ちょうだい、どうぞの遊びが出来る</li> <li>・物の出し入れを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アー、アウ、ブー、オッ」などの声を発する</li> <li>・自分から呼びかけるような声を出す</li> <li>・保育士の歌や動作を喜んで見たり聞いたりする</li> <li>・視覚、聴覚、手の協応が十分に出来る（見つけたもの取る、持ちかえる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あやされると「ウグウグ」など声を出す</li> <li>・「アーウー」の声が出る</li> <li>・「キャッキャッ」とはしゃぐ</li> <li>・上下の追視が出来る</li> <li>・無垢なまなざしでじっと見る</li> </ul>
<b>運動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイハイ、坐位、つかまり立ち、伝い歩きと姿勢を自由に切り替えられる</li> <li>・深さ、距離、高さを知り始め、見通しが解りはじめる</li> <li>・箱などを押して歩いたり、高這いで目標に向かって進む</li> <li>・階段を四つ這い、高這いで昇り降りすることができ</li> <li>・障害物を乗り越えて、好きな人や物のところへ近づける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い場所でのハイハイを保障する</li> <li>・大人が身体を使った揺さぶり遊びをしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹這いの時間を徐々に延ばす(姿勢を変えてあげる)</li> <li>・左右に寝返りできるように働きかける</li> </ul>
<b>手指探索</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両手に物を持って、正面で打ち合わせる</li> <li>・小さい物を、親指と人差し指でつまむ</li> <li>・容器に物を入れる、かぶせる、乗せる、合わせるなどできる</li> <li>・鉛筆やペンを逆に持って打ち付けたり、左右の往復運動をして殴り書きができるようになる</li> <li>・左右それぞれの手で2つの物を持てた上で、他者に渡せる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に前にオモチャを置き、触ったり見たりできるようにする</li> <li>・オモチャを媒介にしてあやし遊ぶ</li> <li>・容器から出せるようになる</li> <li>・小さい物を指先でつまめるようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に前にオモチャを置き、触ったり見たりできるようにする</li> <li>・オモチャに手を伸ばしつかむ</li> <li>・振ったら音が出るようなおもちゃを持たせる</li> </ul>
<b>絵本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の時間を、大人も子どもも楽しむ</li> <li>・絵本に興味を持ち、指差したり、真似したり、集中してみる(聞く力、言葉の獲得)</li> </ul>		
<b>描画造形</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な素材で描くことを楽しむ</li> <li>・季節にあった製作をする (コスモス・とんぼ)</li> </ul>		
<b>音楽</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の歌を楽しむ</li> <li>・赤ちゃん体操や動きに合わせて歌ったり、柔らかい声で静かに歌う</li> <li>・子守唄、わらべうたも歌っていく</li> </ul>		
<b>人間関係</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との関わりをつないでいけるようにしていく</li> <li>・色んな場所、人との関わりを意識的に広げていく</li> <li>・相手だけでなく、相手のしていることにも興味を示し模倣する</li> </ul>		
<b>健康</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探索活動を保障し、安全に気を配る</li> <li>・赤ちゃん体操をする</li> <li>・外気浴</li> <li>・誤飲に注意する(直径3.5cm以下の物は置かない)</li> <li>・環境整備</li> <li>・病気の時(発熱、下痢、嘔吐)の対応情報を伝える</li> <li>・おもちゃや日用品の洗浄</li> <li>・衣服の調節をする</li> </ul>		